

安全データシート (SDS)

作成日:2016年 5月18日

改訂日:2022年 2月10日

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 一発鏡面ハード
供給者の会社名称 : 株式会社クリスタルプロセス
住所 : 〒739-0046 広島県東広島市鏡山3丁目10-18
電話番号 : 082-493-7700 (代)
FAX番号 : 082-493-7701
推奨用途及び使用上の制限 : 自動車塗装面用研磨剤

2 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性 : 引火性液体 区分4
健康に対する有害性 : 皮膚腐食性・刺激性 区分3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2B
特定標的臓器(反復ばく露) 区分1
環境に対する有害性 : 区分に該当しない
*記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」または「分類できない」である。

【GHSラベル要素】

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性液体
軽度の皮膚刺激
眼刺激
長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害

【注意書き】

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

火災の場合

消火するために適切な消火剤を使用すること。

皮膚(または髪)に付着した場合

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合、医師の診断を受けること。

吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診断を受けること。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

容器を密閉すること。
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

組成及び成分情報 :

化学名又は一般名	CAS番号	化審法*1	安衛法*2	含有量
酸化アルミニウム	1344-28-1	(1)-23	No.189	11%
界面活性剤	非公開	非公開	-	非公開
石油系溶剤	非公開	非公開	-	非公開
安定化剤	非公開	非公開	-	非公開
青色色素	非公開	非公開	-	微量
防腐剤	非公開	非公開	-	微量
水	7732-18-5	-	-	残量

*1 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号

*2 労働安全衛生法 第57条の2 名称等を通知すべき有害物質 政令番号

4 応急処置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移動する。 : 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。皮膚を石鹼と水で洗うこと。 : 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合、医師の診断を受けること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。 : コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。 : その後も洗浄を続けること。 : 眼の刺激が続く場合、医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。 : 無理にはき出させず、直ちに医師の診断を受けること。
応急措置をする者の保護	: ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。 : 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気を付けさせる。
医師に対する特別な注意事項	: 症状に応じて処置すること。
予想される急性症状及び遅発性症状	: 誤飲した場合、胃の粘膜を刺激し、嘔吐、下痢、腹痛等の症状を起こすことがある。

5 火災時の措置

適切な消火剤	: 不燃性なので、周囲の火災状況に適した消火剤を使用する。 : 二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂。
火災時の特有の危険有害性	: データなし
特有の消火方法	: 危険でなければ火災区域から製品を移動する。 : 消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6 漏出時の処置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 関係者以外の立ち入りを禁止する。 : 作業者は適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法・機材	: 周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境への流出を避ける。
多量の流出	: 危険を伴わずにできる場合、物質の流れを止める。 : 可能な場合、漏出物が広がるのを防止すること。 : プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。 : パーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。 : 水路、下水道、地下または密閉地域への流入を防ぐ。
少量の流出	: 布等の吸収材で拭き取る。 : 残った汚染を除去するために床をよく清掃すること。 : 回収した本品を使用することは絶対に避けること。
二次災害の防止策	: 全ての発火源を取り除く。近くでの喫煙、火気の禁止。 : 排水溝、下水溝等への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 製品を取り扱う時、使用するすべての装置を接地すること。 : 火花を発生させない工具および防爆型装置を使用する。 : 蒸気は空気と混合し、爆発性混合物を生成することがある。 : 適切な換気を行う。
安全取扱い注意事項	: 使用前に取扱説明書を入手すること。 : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 : 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
接触回避	: 「10 安定性及び反応性」を参照。
適切な衛生対策	: この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 : 取扱い後は手をよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 : 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	: 元の容器で保管する。

8 ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
—	規定なし	規定なし	規定なし

設備対策 : 室内作業場での使用の場合、発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸器用保護具 : 必要に応じて保護マスク等を着用する。
手の保護具 : 保護手袋を着用する。
眼の保護具 : 側板付き安全眼鏡(またはゴーグル)を着用する。
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

9 物理化学的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 青色
臭い : 微臭
融点/凝固点 : 0°C
沸点又は初留点 : 約100°C(沸点)
沸点範囲 : データなし
可燃性 : データなし
爆発下限界及び爆発上限界
上限 : データなし
下限 : データなし
可燃限界 : データなし
引火点 : 65°C(密閉式)
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : 8.0±0.5
動粘性率 : データなし
溶解度 : 水に溶解する
n-オクタノール/水分係数(log値) : データなし
蒸気圧 : データなし
密度及び/又は相対密度 : 1.10 (20°C)
相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : 適用外

10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性 : 通常取り扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性 : 通常取り扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件 : 日光、熱。
混触危険物質 : データなし
危険有害性分解生成物 : 加熱により石油成分が酸化し、引火性蒸気を生成する。

11 有害性情報

【有害性情報】

急性毒性(経口) : データ不足のため分類できない。
急性毒性(経皮) : データ不足のため分類できない。
急性毒性(吸入:気体) : 本製品はGHS定義による気体ではないため区分に該当しない。
急性毒性(吸入:蒸気) : データ不足のため分類できない。
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) : データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性 : 区分3に該当。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2Bに該当。
呼吸器感受性 : データ不足のため分類できない。
皮膚感受性 : データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない。
発がん性 : データ不足のため分類できない。
生殖毒性 : データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1に該当。
誤えん有害性 : 動粘性率が不明のため、分類できない。

*この製品で安全性試験は行っていない。

12 環境影響情報

生態毒性	: データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の有害性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却処理。 少量の場合はおがくず、ウエス等に吸収させて開放型の焼却炉で焼却する。 本品を下水や給水設備に流さないこと。 必要に応じて、マスク等の保護具を着用すること。 廃棄においては、関連法規制並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後、関連法規制並びに地方自治体の基準に従うこと。

14 輸送上の注意

国際規制	
IATA	
国連番号	: 非該当
国連輸送名	: 非該当
国連分類	: 非該当
容器等級	: 非該当
IMDG	
国連番号	: 非該当
国連輸送名	: 非該当
国連分類	: 非該当
容器等級	: 非該当
国内規制	: 国内輸送については「15 適用法令」の規制に従うこと。
緊急時応急措置指針番号	: 非該当

15 適用法令

毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 通知対象物(酸化アルミニウム) 表示対象物(酸化アルミニウム)
消防法	: 非該当(消防法の指定可燃物可燃性液体類に該当)
化学物質の審査及び製造等の 規制に関する法律	: 非該当
化学物質管理促進法(PRTR法)	: 非該当

16 引用文献

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) <http://www.safe.nite.go.jp>
「化学物質総合情報提供システム」データベース(CHRP)
厚生労働省 職場の安全サイト「GHS対応モデルSDS」
JIS Z 7253 : 2019、JIS Z 7252 : 2019
日本産業衛生学会
Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices. ACGIH

本記載内容は現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂されることがあります。記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。
全ての化学製品には未知の有害性があるため、取扱いには細心の注意が必要です。
御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。
また、特別な取扱いをするときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。